

# 2010年度 部落解放・人権大学講座 受講申込書

名前	ふりがな	性別	年齢
※ 性別(自認)と年齢は、宿泊研修の部屋割り、班分けの際の参考にさせていただきます。			
1. 所属 ※ 部・課・係名までお書きください。			
〒			
連絡先	TEL	FAX	E-mail
2. 自宅 講座運営中の緊急連絡と講座修了後の連絡のために使用します。必ずご本人の同意の上、ご記入ください。			
〒			
TEL	FAX	E-mail	
※ 受講決定通知、請求書などの送付先が「連絡先」と異なる場合(派遣担当部局など)は記入してください。			
〒			
TEL	FAX	ご担当者名	
希望する期 ※ いずれかに○をつけてください。			
第99期		第100期	

受付番号	受付日	受付者

※ ご記入いただきました個人情報は、講座の運営・修了後の研修等の目的以外には使用いたしません。  
 ※ 今回、ご記入いただきました内容に変更が生じた場合には、お手数ですが、**講座事務局 TEL:06(6567)3893 FAX:06(6568)0714 E-mail:kaidai@blhrii.org** までご連絡ください。  
 ※ 当研究所移転後、電話・FAX番号は変更します。新しい番号は、ウェブサイトでご案内します。

派遣研修の場合は、裏面もご記入ください。

主催・お問い合わせ  
**(社) 部落解放・人権研究所**  
 部落解放・人権大学講座事務局  
**E-mail kaidai@blhrii.org URL http://blhrii.org**  
 〒556-0028  
 大阪市浪速区久吉 1-6-12 大阪人権センター内  
 TEL 06 (6567) 3893 FAX 06 (6568) 0714  
 ※大阪人権センター移転に伴い、当研究所も移転します。また、電話・FAX番号も変更します。新しい番号はウェブサイトでご案内します。

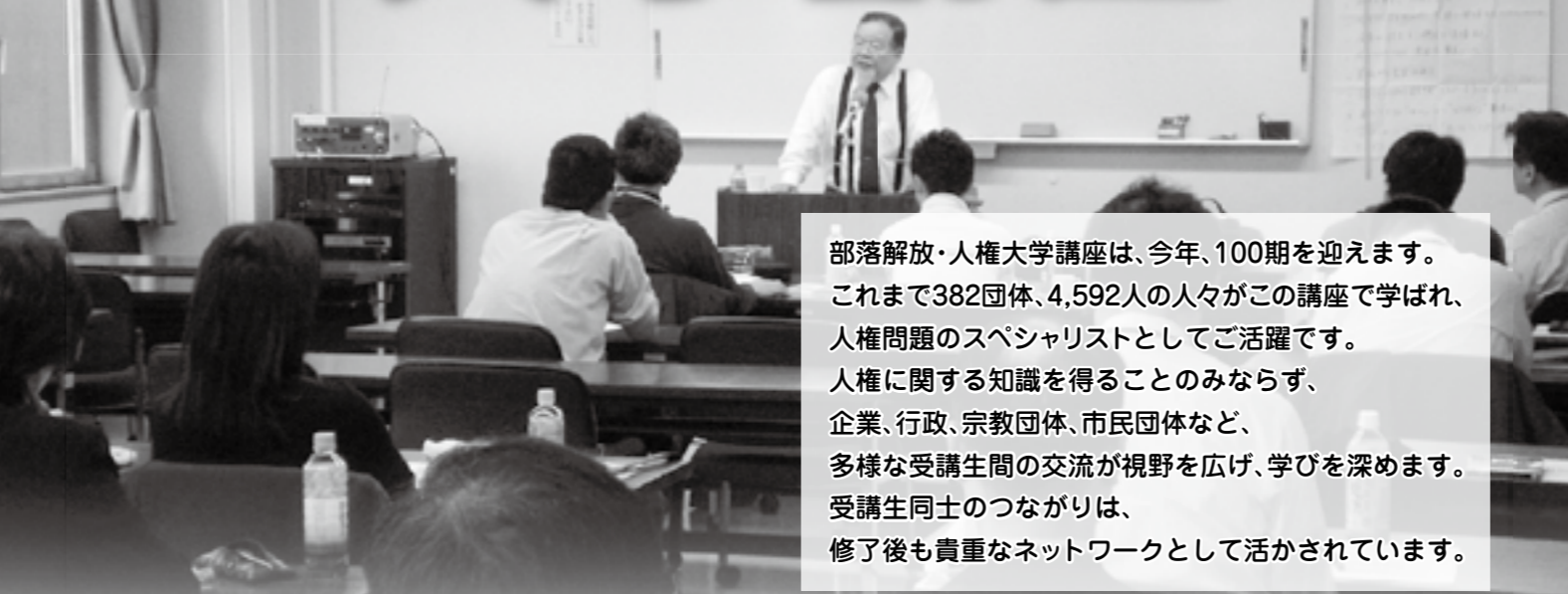
協力  
**部落解放・人権大学講座運営委員会**  
 部落解放・人権大学講座運営委員会は、大阪府、大阪市、堺市をはじめとした大阪府内の自治体や、人権教育関係組織、大阪同和・人権問題企業連絡会、大阪企業人権協議会、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議など、各界で人権問題に取り組む団体で構成され、本講座の企画・運営にご協力いただいております。

## これまで受講生を派遣された組織

■大阪府 ■大阪市 ■堺市 ■豊中市 ■池田市 ■真面目 ■吹田市 ■高槻市 ■茨木市 ■摂津市 ■守口市 ■枚方市 ■寝屋川市 ■大東市 ■門真市 ■四條畷市 ■交野市 ■東大阪市 ■八尾市 ■松原市 ■柏原市 ■富田林市 ■河内長野市 ■羽曳野市 ■藤井寺市 ■大阪狭山市 ■泉大津市 ■和泉市 ■高石市 ■岸和田市 ■貝塚市 ■泉佐野市 ■泉南市 ■阪南市 ■能勢町 ■豊能町 ■島本町 ■太子町 ■河南町 ■千早赤阪村 ■忠岡町 ■熊取町 ■田尻町 ■岬町 ■福知山市 ■尼崎市 ■宝塚市 ■加古川市 ■市川町 ■奈良市 ■宇陀市 ■曾爾村 ■御代田町 ■三重県 ■四日市市 ■鈴鹿市 ■松阪市 ■鳥羽市 ■名張市 ■伊賀市 ■桑名市 ■津市 ■野洲市 ■東近江市 ■和歌山市 ■米子市 ■大阪の部落編纂委員会 ■反差別国際連動日本委員会 ■部落解放同盟愛媛県連合会 ■部落解放同盟大阪府連合会 ■部落解放同盟中央本部 ■部落解放同盟奈良県連合会 ■部落解放同盟兵庫県連合会 ■カトリック正義と平和協議会 ■カトリック中央協議会 ■浄土真宗本願寺派 ■真宗大谷派 ■西山浄土宗 ■世界救世教 ■曹洞宗 ■天理教 ■日本基督教団 ■日本聖公会 ■和宗総本山四天王寺 ■泉佐野市人権を守る会 ■大阪市人権教育研究協議会 ■大阪府人権啓発推進協議会 ■大阪市立高等学校人権教育研究会 ■大阪市立住吉人権文化センター ■大阪府私立学校人権教育研究会 ■大阪府人権教育研究協議会 ■大阪府人権福祉施設連絡協議会 ■大阪府信用農業協同組合連合会 ■大阪府専修学校各種学校連合会 ■大阪府地域支援人権協議会 ■大阪府福祉人権推進センター ■大阪府立学校人権教育研究会 ■岸和田市人権啓発推進協議会 ■堺市人権教育推進協議会 ■堺市農業協同組合 ■JAグループ大阪人権推進連絡会 ■人権啓発推進大阪協議会 ■全国共済農業共同組合連合会 ■中小企業連合会 ■日本労働組合総連合会大阪府連合会 ■全国農業協同組合連合会 ■東大阪市人権啓発協議会 ■枚方郵便局部落解放研究会 ■部落解放大阪府企業連合会 ■(財)大阪府人権協会 ■(社)甲賀・湖南人権センター ■(財)高速道路交流推進財団 ■(財)新日本宗教団体連合会 ■(財)聖ハルバノ病院 ■(社)大阪人権協会 ■(社)日本水道協会 ■(社)ひょうご部落解放・人権研究所 ■(社)部落解放・人権研究所 ■(社)大阪府社会福祉協議会 ■(社)大阪府社会福祉協議会 ■(社)若江学院 ■(学)エール学園 ■(学)大阪国際学院 ■(学)大阪産業大学 ■(学)大阪歯科大学 ■(学)城南学園 ■(学)追手門学院大手前高等学校 ■(学)関西情報学院専門学校 ■(学)関西大学 ■(学)享栄学園 ■(学)近畿大学 ■(学)四天王寺学園 ■(学)塚本学院 ■(医)寺西報恩会長吉総合病院 ■(医)南大阪病院 ■(医)渡辺第二病院 ■独立行政法人雇用・能力開発機構 ■(株)HII ■アイン精工(株) ■アイワ(株) ■(株)あおぞら銀行 ■朝日生命保険(株) ■安治川鉄工(株) ■味の素(株) ■アステラス製薬(株) ■(株)アライドック ■イオン(株) ■イオンテイル(株) ■イオンリテール(株) ■石塚硝子(株) ■イズミヤ(株) ■イトキン(株) ■稲畑産業(株) ■(株)IMAGICA ウェスト ■宇部興産(株) ■エクソンモービル(有) ■SEIビジネススクリエイティブ(株) ■SEIプロスタッフ ■NECシステムテクノロジー(株) ■NECセミコンダクターズ関西(株) ■NECライティンク(株) ■NTN(株) ■(株)NTTドコモ中国 ■(株)NTTドコモ東海 ■(株)エヌ・ティ・ティネオメイト関西 ■(株)NTTビジネスアソシエ関西 ■近江鉄道(株) ■大磯産業(株) ■オーウエル(株) ■大内新興化学工業(株) ■大倉(株) ■大倉運輸産業(株) ■大阪ガス(株) ■大阪協栄信用組合 ■大阪石油化学(株) ■(株)大津コーポレーション ■オムロン(株) ■カネボウ化粧品 ■カネボウ化粧品販売(株) ■カネボウ(株) ■(株)関西アーバン銀行 ■関西国際空港(株) ■関西バイント(株) ■関西電力(株) ■菊正酒造(株) ■KISCO(株) ■キョーコマ(株) ■共栄火海上保険(株) ■(株)キンピル(株) ■(株)近畿大阪銀行 ■近畿工業(株) ■近畿日本鉄道(株) ■(株)近鉄百貨店 ■(株)きんてん ■(株)クボタ ■クラシエホールディングス(株) ■クラボウ(株) ■(株)クラヤ三屋堂 ■栗田工業(株) ■栗本商事(株) ■(株)栗本製工所 ■グンゼ(株) ■(株)群馬銀行 ■(株)ケイ・オプティコム ■京阪電気鉄道(株) ■興和(株) ■コカ・コーラウエスト(株) ■

国際警備保障(株) ■コスモ警備保障(株) ■コスモ建物管理(株) ■小林製薬(株) ■(株)サイマックスビルマネジメント ■佐藤工業(株) ■(株)澤田洋行 ■山丸(株) ■産業振興(株) ■サンスター(株) ■参天製薬(株) ■サントリーホールディングス(株) ■三洋電機(株) ■(株)ジェイアール西日本交通サービス(株) ■(株)ジェイアール西日本ホテル開発 ■JFEスチール(株) ■JFE継手(株) ■(株)ジェイテクト ■塩野義製薬(株) ■(株)滋養銀行 ■(株)資生堂 ■資生堂販売(株) ■清水建設(株) ■ZIPANG(株) ■シャープ(株) ■シャープマニファクチャリングシステム(株) ■蛇の目マシン工業(株) ■(株)ジョイック ■(株)商工組合中央金庫 ■(株)高船三井 ■昭和シェル石油(株) ■信越化学工業(株) ■新関西エアポートサービス(株) ■新協和産業(株) ■新星和不動産(株) ■新内外綿(株) ■新日本石油(株) ■新日本石油精製(株) ■住電電業(株) ■住金機工(株) ■住友金属工業(株) ■住友金属物流(株) ■住友商事(株) ■住友信託銀行(株) ■住友精密工業(株) ■住友生命保険(株) ■住友電業(株) ■住友電工ハードメタル(株) ■住友電設(株) ■(株)清文社 ■積水ハウス(株) ■摂津水都信用金庫 ■(株)錢高組 ■全日本空輸(株) ■双日(株) ■象印マホービン(株) ■(株)損害保険ジャパン(株) ■(株)ダイエー ■ダイキン工業(株) ■(株)第三銀行 ■大成建設(株) ■大同工業(株) ■大同生命保険(株) ■大和美容(株) ■ダイハツ工業(株) ■太平洋セメント(株) ■(株)大和証券グループ本社 ■大和ハウス工業(株) ■(株)竹中工務店 ■田辺総合サービス(株) ■田辺三菱製薬(株) ■(株)チトセ ■(株)ツバキエマソン ■テルウエル西日本(株) ■テレビ大阪(株) ■(株)デンソー ■(株)電通 ■東海カーボン(株) ■東海染工(株) ■東海旅客鉄道(株) ■東急リハビリ(株) ■東京海上日動火災保険(株) ■東洋紡インテリア(株) ■東レ(株) ■ドコモサービス関西(株) ■トヨタ自動車(株) ■(株)豊田自動織機 ■トヨタ車体(株) ■西日本高速道路(株) ■(株)西日本シティ銀行 ■西日本電信電話(株) ■西日本旅客鉄道(株) ■(株)日建設計 ■日産プリンス大阪販売(株) ■日新製糖(株) ■(株)日清製粉グループ本社 ■ニッセイ同和損害保険(株) ■ニッセイ・ビジネス・サービス(株) ■日鐵住金溶接工業(株) ■日東カストリアル・サービス(株) ■日東電工(株) ■日東紡績(株) ■(株)日住サービス ■(株)日本アクセス ■日本インシュアランスサービス(株) ■日本生命損害保険(株) ■日本GE(株) ■(株)日本システムディベロップメント ■日本生命保険(株) ■日本タクシー(株) ■日本たばこ産業(株) ■日の出証券(株) ■日本電気硝子(株) ■日本山村硝子(株) ■日本輸送機(株) ■(株)日本旅行 ■(株)ニュージエック ■(株)ネクステージ関西 ■(株)ノエビア ■(株)ノザウ ■(株)ノリタケカンパニーリミテド ■(株)間組 ■パナソニック コンシューマー マーケティング(株) ■阪神高速道路(株) ■阪神電気鉄道(株) ■(株)ピケンテクノ ■(株)日立製作所 ■(株)広島銀行 ■(株)びわこ銀行 ■(株)福井銀行 ■(株)福井製作所 ■富士火災海上保険(株) ■富士生命保険(株) ■(株)フジソク ■(株)不動トラ ■(株)平和堂 ■ペガサスミシン製造(株) ■ほぷり新聞社 ■(株)マイカル ■マズミューチャラル生命保険株式会社 ■(株)松井製作所 ■(株)松尾電機(株) ■パナソニック(株) ■パナソニック電工(株) ■パナソニックエレクトロニクス(株) ■マツダ(株) ■マルハニチロ水産(株) ■(株)マンダム ■三菱自動車工業(株) ■みずほインバスター証券(株) ■みずほ証券(株) ■みずほ信託銀行(株) ■三井住友海上火災保険(株) ■(株)三井住友銀行 ■三井造船(株) ■三菱地所(株) ■三菱製紙販売(株) ■三菱電機(株) ■三菱マテリアル(株) ■三菱UFJ信託銀行(株) ■光村図書出版 ■宮崎機械システム(株) ■明治安田生命保険(株) ■持田製薬(株) ■森下仁丹(株) ■(株)モリタホールディングス ■(株)山善 ■山文商事(株) ■ヤママ(株) ■ユニチカ(株) ■読売新聞社 ■ラサ商事(株) ■理研計器(株) ■(株)りそ銀行 ■(株)レナウン (順不同) ■2010年1月現在)

# 2010年度 部落解放・人権大学講座



部落解放・人権大学講座は、今年、100期を迎えます。これまで382団体、4,592人の人々がこの講座で学ばれ、人権問題のスペシャリストとして活躍です。人権に関する知識を得ることのみならず、企業、行政、宗教団体、市民団体など、多様な受講生間の交流が視野を広げ、学びを深めます。受講生同士のつながりは、修了後も貴重なネットワークとして活かされています。

## 出会い・発見・感動 開講36年。382団体、4,592人の受講実績

第99期 2010年 6月15日火 ~ 2010年 12月14日火

第100期 2010年 10月6日水 ~ 2011年 3月24日木

※2010年度は2期開講です。 ※実施日数は各期29日間、定員は各期60名です。

受講料 241,500円(消費税含む)

主催:社団法人 部落解放・人権研究所 協力:部落解放・人権大学講座運営委員会

## 2010年度 部落解放・人権大学講座 プログラム

		● 場合により日程は変更することがあります。		
第99期	第100期	9:30~16:45		
6/15(火)	10/ 6(水)	開講式(10:00~)	オリエンテーション	講義「部落の歴史」
		9:30~12:30		13:30~16:30
6/16(水)	10/14(木)	出会のワークショップ 多様性教育①	人権の概念と歴史	
6/22(火)	10/20(水)	同和教育と人権教育	人権と福祉のまちづくり	
6/29(火)	10/21(木)	差別をなくする社会システムのあり方	部落地名総鑑事件と企業の社会的責任	
		9:30~11:30		12:15~16:30
6/30(水)	10/27(水)	部落差別の現状と課題	浪速地区フィールドワークと大阪人権博物館の見学	
7/ 6(火)	11/ 4(木)	宿泊研修①	私と部落問題	部落解放運動の歴史
7/ 7(水)	11/ 5(金)	宿泊研修②	同和行政の歴史と今後の課題	自己啓発学習に向けたワークショップ 多様性教育②
7/13(火)	11/12(金)	自己啓発学習①	小グループ討議	
7/20(火)	11/18(木)	自己啓発学習②	小グループ討議	
7/26(月)	11/25(木)	自己啓発学習③	班討議	
7/27(火)	11/26(金)	自己啓発学習④	班討議	
8/ 3(火)	12/ 2(木)	自己啓発学習⑤	小グループ討議	
8/10(火)	12/ 9(木)	自己啓発学習⑥ 冊子作成	班討議	
8/24(火)	12/16(木)	自己啓発学習⑦	班討議	
8/31(火)	12/17(金)	水平社博物館の見学とフィールドワーク		
		9:30~12:30		13:30~16:30
9/ 7(火)	1/ 6(木)	近代化と差別	部落解放への理論	
		9:30~12:00		13:00~15:30 15:45~16:45
9/14(火)	1/13(木)	司法と人権~狭山事件を踏まえて~	宗教者が語る人権	自由課題研究 レポート説明会
9/22(水)	1/19(水)	人権の視点からみた労働問題	野宿労働者の人権/沖縄出身者の歴史と人権 (フィールドワーク)	
9/28(火)	1/20(木)	女性の人権	在日韓国・朝鮮人の人権	フィールドワーク ぶりかえり
10/ 5(火)	1/25(火)	ハンセン病と人権/エイズ患者・HIV感染者の人権	視覚教材学習	セクシュアルマイノリティの人権
10/13(水)	2/ 3(木)	子どもの権利	講義「障害者の人権」と就労支援施設見学 (西成地区)	
10/19(火)	2/10(木)	日本で暮らす外国人の人権	持続可能な開発と人権	
10/26(火)	2/17(木)	報道と人権	人権としてのメディア・リテラシー	
11/ 2(火)	2/24(木)	市民意識の現状から見た人権啓発の課題	自由課題研究レポート (質問タイム)	
11/16(火)	2/25(金)	職場における人権研修	人権相談のあり方	
11/22(月)	3/ 2(水)	成人教育論	学びを今後に活かすために 多様性教育③	
11/30(火)	3/10(木)	フィールドワーク (大阪近辺の部落を予定)		
		自由課題研究レポート発表		
12/ 7(火)	3/17(木)	21世紀における人権の課題 記念講演「これからの部落解放運動」		
12/14(火)	3/24(木)	修了の集い		

…自己啓発学習 …自由課題研究レポート …フィールドワーク ※ 講義終了後、16:45まで事務連絡等があります。

## 部落解放・人権大学講座 2つの特色

本講座では講義形式の学習だけでなく、参加型学習(ワークショップ)やフィールドワークなど、多彩な学習手法を取り入れています。  
また、学習者の「主体的な学び」を促すため、以下の2つのプログラムを設けています。

### 自己啓発学習

「自己啓発学習」は、受講生一人ひとりの中にある部落問題への認識や、差別・被差別体験を見つめ直し、部落問題や人権問題を自らの問題として捉え直すことを目的としています。経験豊かな助言者からのアドバイスを受けつつ、少人数のグループでの話し合いを通じて、豊かな人権感覚を身につけていきます。

### 自由課題研究レポート

受講期間の後半には、部落問題・人権問題に関するテーマを自由に設定していただき、レポートを執筆いただきます。専門的な知識をより深く、人権研修のリーダーとして自らの考えを他者に的確に伝える力を身につけます。講座終盤には「質問タイム」を設け、助言者からテーマに即した適切な文献紹介などのアドバイスをを行い、レポート執筆をサポートします。

## 修了生の声

**自己啓発学習が転機に**  
第94期 小林 義和 東海旅客鉄道(株)  
解放大学の自己啓発学習で自己の半生を振り返ることが大きな転機になり、弊社人権啓発担当として自信を持つことができました。講師や事務局、行政、企業、NPOなど多くの方々と知り合い、その後お付き合いをさせていたことで、大きく視野が広がりました。  
また、2008年からは愛知でも「部落解放・人権大学愛知第2期」が開校されています。私は大阪の解放大学の学びを踏まえ、第2期から助言者として参加、受講者の皆さんと有意義な時間を過ごす機会を与えられ感謝しております。  
今後は参加型人権研修を実施できるよう精進していきたいと思っております。

**仲間が宝物**  
第96期 野村 芳晴 和泉市  
私にとって解放大学は、これまで私が学習、体験してきたことの復習や新たな学習についての発見など、有意義なものでした。自分の人権意識に磨きをかけよう、自分自身を一度むこうと参加しましたが、長期間にわたる研修の中で、間違いなく変化、成長していると確信を持ちました。  
開講日には「参加者」だった同期の方々や、修了の頃には「仲間」と変化していました。それまでの職場、立場で、解放大学で学んだことを活かして、「各職場において人権啓発の中心になる」「人権を守り差別を無くしていく」と取り組む「仲間」と出会えた繋がりは宝物です。

**さまざまな立場・世代を超えての学びの仲間**  
第95期 清田 和子 日本生命保険(株)  
解放大学の自己啓発学習で自己の半生を振り返ることが大きな転機になり、弊社人権啓発担当として自信を持つことができました。講師や事務局、行政、企業、NPOなど多くの方々と知り合い、その後お付き合いをさせていたことで、大きく視野が広がりました。  
また、2008年からは愛知でも「部落解放・人権大学愛知第2期」が開校されています。私は大阪の解放大学の学びを踏まえ、第2期から助言者として参加、受講者の皆さんと有意義な時間を過ごす機会を与えられ感謝しております。  
今後は参加型人権研修を実施できるよう精進していきたいと思っております。

**とても有意義な半年間でした**  
第97期 井上 京子 伊賀市  
この解放大学を受講できてよかったと思うことはたくさんあります。まず、人権について長期的・体系的に学べたことがとても有意義でした。単発的な研修では身につけることが難しい人権感覚を習得する第一歩となりました。そして印象的だった講義はいくつもありますが、中でも自己啓発学習については、こんなに徹底的に考え、議論し、他者の意見をもらい、自分ひとりで考えているだけでは気づかないことに気づける機会はありませんでした。  
三重県の一自治体職員として業務を行う中ではなかなかできない経験、すばらしい出会い、毎週1回出張する私をフォローしてくれた職場の人たち、この半年間を過ごすことができたことにひたすら感謝しています。

## 私たちが推薦します



## 講師

李 美 葉	NPO法人多民族共生人権教育センター理事長	寺木 伸明	(社)部落解放・人権研究所理事長、桃山学院大学国際教養学部教授
内田 龍史	(社)部落解放・人権研究所企画・研究部	土肥いづみ	セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク
大賀 正行	(社)部落解放・人権研究所名誉理事	友永 健三	(社)部落解放・人権研究所理事、反差別国際運動事務局次長
大北規句雄	福祉運動・みどりの風事務局長	中北龍太郎	大阪弁護士会、狭山事件再審弁護団事務局長
太田 恭治	LLPあとろえ西濱	中山 久夫	クラシエホールディングス(株)
大西 英雄	大阪同和・人権問題企業連絡会理事長	西村 寿子	(社)部落解放・人権研究所啓発・販売部部長
小笠原正仁	浄土真宗本願寺派僧侶、(社)和歌山人権研究所理事	丹羽 雅雄	大阪弁護士会
奥田 均	近畿大学教授	朴 一	大阪市立大学大学院教授
川喜田好恵	ドーンセンターカウンセラー、日本フェミニストカウンセラー協会理事	花井 十伍	(特活)ネットワーク医療と人権
川島 保	ハンセン病療養所退所者、いちょうの会	浜本 裕子	ESD-関西
北口 末広	部落解放同盟大阪府連合会執行委員長、近畿大学教授	姫嶋 純子	心理カウンセラー
北野真由美	NPO法人えんばわめんと界、大阪多様性教育ネットワーク	平川 安信	中京大学法学部・大学院法学研究科教授
熊沢 誠	甲南大学名誉教授、研究会「職場の人権」代表	平沢 安政	大阪大学大学院教授
組坂 繁之	部落解放同盟中央本部中央執行委員長	松岡 広路	神戸大学大学院人間発達環境学研究所教授
栗本 敦子	Facilitator's LABO(えびらほ)、大阪多様性教育ネットワーク	松田 士朗	立命館大学非常勤講師、BPO「放送倫理・番組向上機構」元統括調査役
黒川みどり	静岡大学教授	村井 茂	(財)大阪府人権協会
神戸 修	浄土真宗本願寺派僧侶	安田 幸雄	部落解放同盟大阪府連合会執行委員
小頭 芳明	クボタワークス(株)代表取締役	大野 正和	アカデミック・ライター
桜井智恵子	大阪大谷大学、川西市子ども人権オンブズパーソン	熊本 理抄	近畿大学人権問題研究所
		谷川 雅彦	部落解放同盟大阪府連合会書記次長

■フィールドワーク受入先 (日程順)  
大阪人権博物館 水平社博物館 関西沖縄文庫 NPO法人 釜ヶ崎支援機構 (社福)ヒューマンライツ福祉協会

(2010年1月現在)

## 助言者

芦田 武雄	第26期部落解放大学講座修了生	小林 繁	大阪市企業人権推進協議会
安藤 正彦	第53期部落解放・人権大学講座修了生	椎葉 正和	福祉情報センター・共働事業所b-free
井村 紘	第23期部落解放大学講座修了生	塩谷 幸子	部落解放同盟大阪府連合会向野支部支部長
上平 桂士	第12期部落解放大学講座修了生、(社)和歌山人権研究所理事	高山 義弘	第32期部落解放大学講座修了生
大賀 喜子	大阪市立大学非常勤講師	中田 重幸	第12期部落解放大学講座修了生
梶山 武志	(社)大阪府専修学校各種学校連合会 人権教育推進協議会、人権擁護士	西畑 富三	第55期部落解放・人権大学講座修了生
金子 則夫	第28期部落解放大学講座修了生	乗本 良一	第19期部落解放大学講座修了生、元大東市収入役
幸田 英二	第52期部落解放・人権大学講座修了生	藤尾 修子	第64期部落解放・人権大学講座修了生、元大東市収入役
		保田 謙吾	第54期部落解放・人権大学講座修了生

(2010年1月現在、50音順)

日程 ※随時、ご予約を受け付けております。ご希望の期はお早めにご連絡ください。(先着順)

第99期 2010年6月15日(火)～12月14日(火) 受講申込締切日 2010年5月17日(月)

第100期 2010年10月6日(水)～2011年3月24日(木) 受講申込締切日 2010年9月6日(月)

●実日数は、各期とも29日間です。●時間帯は、原則として午前9:30～午後4:45です。●定員 各期60名

## 受講料

241,500円(消費税込)  
※宿泊研修費、教材費を含みます。

開講日までにお振り込みください。

### ●受講料の減額措置について

個人で受講申し込みをされる場合などで、受講への熱意があり、かつ受講料全額の支払いが困難であると判断される場合は、申請の上、受講料の減額措置を受けることができます。

※この他、厚生労働省の制度で、キャリア形成促進助成金があります。制度の詳細については、雇用・能力開発機構都道府県センターにお問い合わせ下さい。  
<http://ehdo.go.jp/> 雇用・能力開発機構都道府県センター ナビダイヤル 電話0570-001154

## 受講の手続き

- ①各期、申込締切日までに、「受講申込書」に必要事項をご記入の上、「作文」(右ページ参照)を添えて、下記の申込先までお送りください。
- ②受講申込書受付後、書類審査の上、受講決定通知・請求書等をお送りします。(なお、必要に応じて面接を行うことがあります。)
- ③申込受付は、先着順とし、各期とも年間を通じて随時受け付けています。定員になり次第、受付を締め切ります。
- ④受講される方が確定していない段階でも、定員内で予約を受け付けています。

## 申込先・予約受付

(社)部落解放・人権研究所 啓発・販売部 啓発企画室 部落解放・人権大学講座事務局  
〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12 TEL 06-6567-3893 FAX 06-6568-0714  
E-Mail [kaidai@bihrii.org](mailto:kaidai@bihrii.org) URL <http://bihrii.org>

※大阪人権センター移転に伴い、当研究所も移転します。また、電話番号・FAX番号も変更となります。  
※新しい電話番号・FAX番号は決まり次第、当研究所のウェブサイトでご案内します。

## 主会場

新・大阪人権センター (仮称)  
大阪市港区波除4-1-37 H・R・Cビル

●JR大阪環状線・大阪市営地下鉄「弁天町」駅下車 徒歩8分

※大阪人権センター移転に伴い、当研究所も移転します。また、電話番号・FAX番号も変更となります。  
※新しい電話番号・FAX番号は決まり次第、当研究所のウェブサイトでご案内します。



## 付地図

新・大阪人権センター(H・R・Cビル)

## 交通案内

JR大阪環状線 弁天町駅  
JR大阪環状線 本町駅  
JR大阪環状線 新今宮駅  
JR大阪環状線 天王寺駅  
JR大阪環状線 南今宮駅  
JR大阪環状線 新今宮駅  
JR大阪環状線 天王寺駅  
JR大阪環状線 南今宮駅

## 申込方法

本「受講申込書」に必要事項をご記入の上、作文(詳細下記)を添付して、申込締切日までに講座事務局へお送りください。

受講申込締切日 第99期 2010年5月17日(月) 第100期 2010年9月6日(月)

### 添付する作文について

本講座受講への意識付けのために、事前にご執筆いただくものです。以下の3点について1,200字程度にまとめて、「受講申込書」と合わせて、お送りください(書式自由)。  
・受講の動機や抱負  
・現在の業務と人権の関わり  
・部落問題や差別に関しての経験や見聞きしたこと など

## 受講生の派遣にあたって

### 1 人選について

本講座は、部落問題をはじめとする人権問題を解決するために必要な指導者養成を目的としています。したがって、できるだけ以下の条件を満たす方をご派遣いただくことをお勧めします。

1. 部落問題や人権問題に関わる具体的な業務や役割をもった方
2. 部落問題や人権問題に関して学習意欲のある方

### 2 修了の要件について

以下の三点を修了要件とします。受講される方に、事前にお伝えください。業務の都合等で要件を満たせない場合は、事務局にご相談ください。

1. 講座への8割以上の出席(全日程の出席が原則です。やむを得ず欠席された場合は、講義録音による補講を行います。ただし、自己啓発学習は補講が行えませんが必ずご出席ください。)
2. 自己啓発学習の修了(原則全7日間の出席と、レポートの提出が必要です。)
3. 自由課題研究レポートの提出(講座期間中の指定する期日までに提出してください。)

派遣の目的 ※所属長が記入してください。

所属長名 \_\_\_\_\_ (印)

欠席について ※どうしても出席できない日時がある場合、事前にお知らせください。

日時 年 月 日 ( ) : ~ : 理由